

# 石川県における がん登録 ダイジェスト版

【平成16年標準集計・平成12年罹患者生存率集計】

平成20年3月

石 川 県

## はじめに

平成3年から石川県が実施主体となって、社団法人石川県医師会、県内全医療施設および金沢市保健所の協力を得て実施している「石川県地域がん情報管理事業(がん登録事業)」は17年目をむかえました。

このダイジェスト版は、がん予防の観点から、県民や医療及び保健関係者(市町・保健所)に対し、情報をわかりやすく提供することを目的として、平成12年度から発行しているものです。

このダイジェスト版が、石川県民全体のがん予防の啓発や医療及び保健関係者の活動等に、大いに役立つことを願っております。

平成20年3月

石川県健康福祉部

## ポイントを簡単に知りたい方のために

詳細はこちらのページ

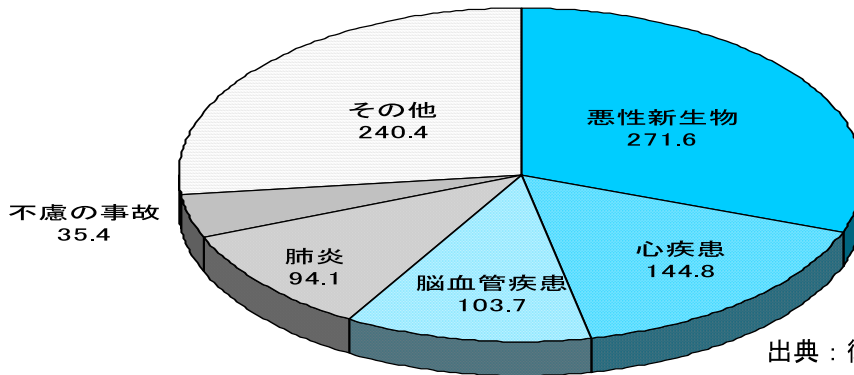
- がん登録はがん対策に重要です。 …がん登録事業の目的 P1
- がん登録は行政・医療が協力して行っています。  
…石川県がん登録の実施体制図 P2
- どの年代にどんながんにかかりやすいかご存じですか？  
…年代別のがん罹患状況 P4
- 男性女性とも「胃がん」は減少傾向です！  
男性では「肺がん」、女性では「乳がん」が気になる動き方です！  
…年齢調整罹患率と年齢調整死亡率の推移 P5
- がんにかかる人・亡くなる人が多い部位は全国と同じです。  
…全国との比較 P7
- 早期に見つかりやすいがんは、「胃がん」と「子宮がん」です。  
…早期がんの割合 P9
- 男性女性とも「大腸がん」「胃がん」が比較的経過が良好です。  
女性では「乳がん」「子宮がん」はさらによい経過を示しています。  
…5年生存率 P10
- 検診でがんが見つかった人は、外来で見つかった場合と比較して高い生存率を示しています。  
…検診群と外来群別5年生存率 P12
- 早期で見つければ生存率は8割以上です。  
… 進行度別の5年生存率 P13

# がん登録事業の目的

悪性新生物（以下、一般に広く受け入れられている「がん」という名称を使います。）は、石川県の死亡原因の第1位を占めており、また増加の一途をたどっています。その対策を推進することは、県民の健康の保持・増進を図る上でとても大切です。そのためには「がん登録」によってがん罹患数（がんにかかった患者さんの数）等を的確に把握し、がん対策を検討・実施することが重要な課題なのです。

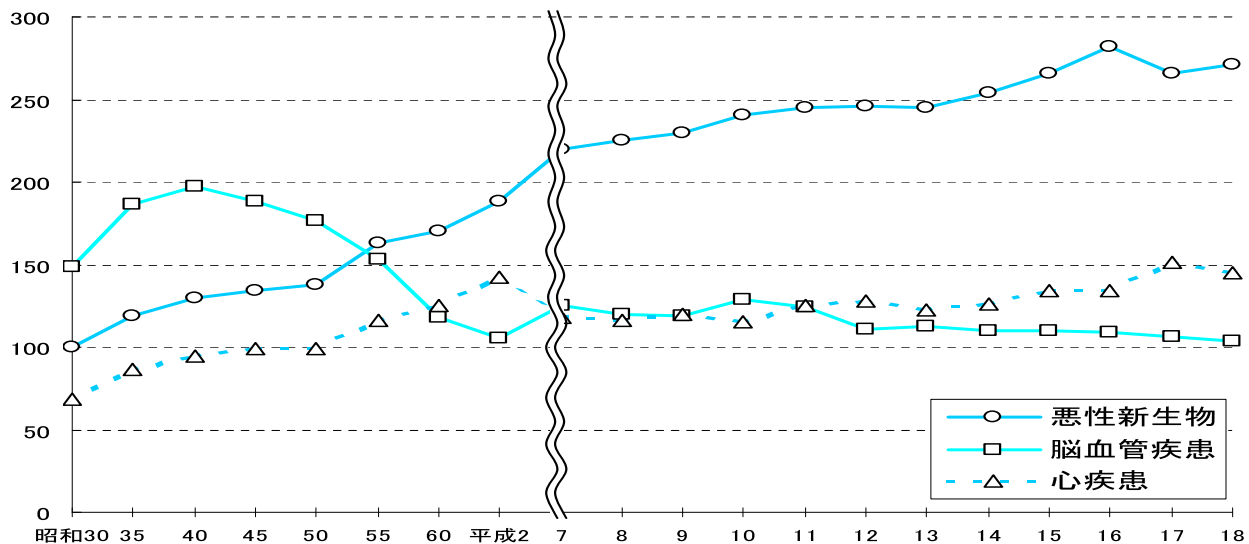
石川県地域がん情報管理事業では、がんについてその発病から治療または、死亡に至るまでの全経過に関する医療情報を多方面から集め、個々のがんごとに集約し、これらの情報を使用して、がんの予防、医療活動に活用することを目的としています。

### 石川県の主要死因別死亡率(人口10万対)



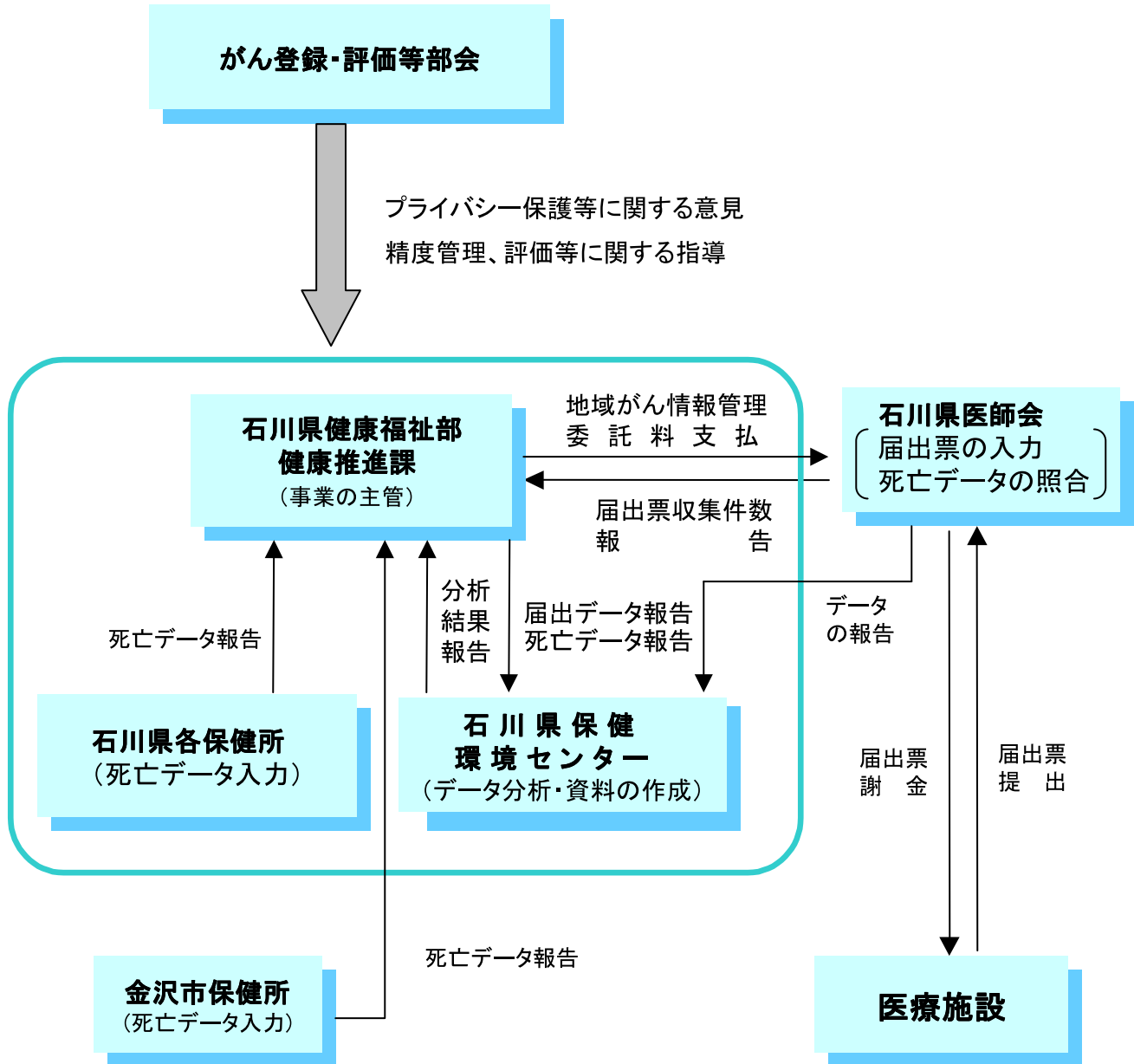
出典：衛生統計年報(平成18年)

### 石川県の死因別死亡率(人口10万対)の年次推移



出典：衛生統計年報(平成18年)

# 石川県がん登録の実施体制図



平成3年から石川県が実施主体となって、社団法人石川県医師会、県内全医療施設および金沢市保健所の協力を得て実施しています。

## ○ がん（悪性新生物）登録の対象者

石川県内に住み、医療施設において登録対象がん(悪性新生物)に罹患したと診断された者及びそれによる死亡者を対象としている。

### ・罹患患者の登録

県内の医療施設が、登録対象がんの患者を診断した場合に提出される「石川県悪性新生物届出票」(以下、「届出票」)を県医師会で収集し、その内容を入力する。

### ・死亡患者の登録

保健所で、人口動態調査死亡票(以下、「死亡票」)を収集しその内容を入力する。

## ○ 対象となる がん（悪性新生物）

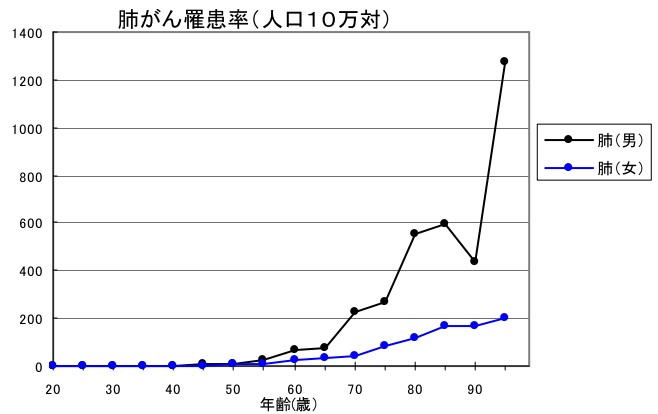
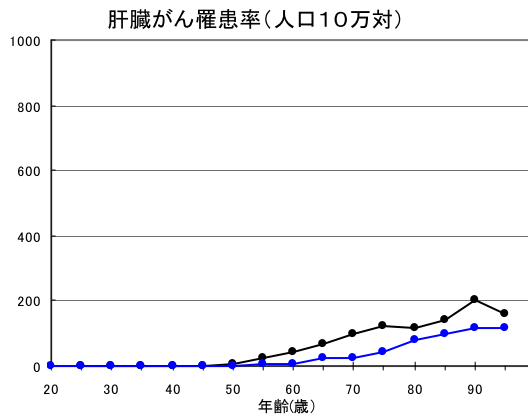
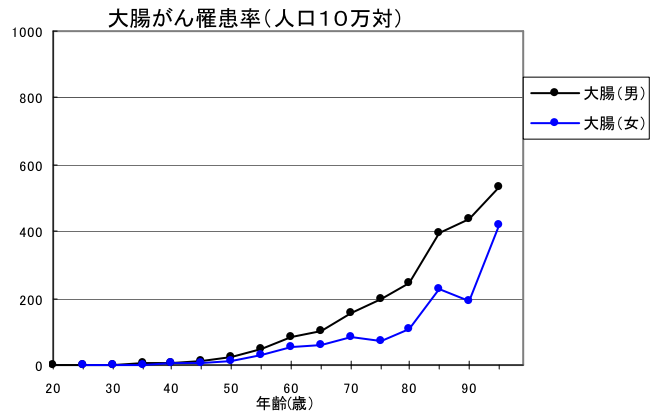
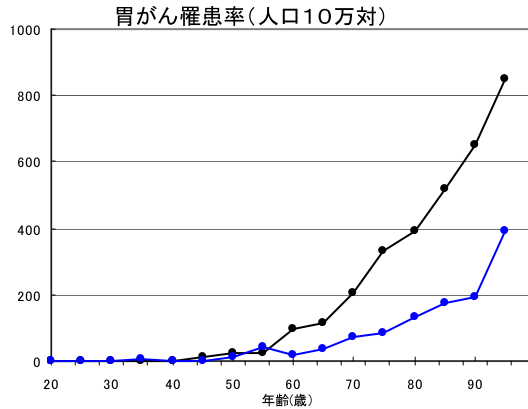
届出対象となるがん(悪性新生物)の範囲は、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正(ICD-10)」のうち、原発部位が表1に記載した男性8部位、女性10部位(以下、「登録部位」という。)とした。

なお、当事業は、精度管理等の観点から男性8部位、女性10部位で開始したが、その罹患数合計は、全国推定罹患数(「地域がん登録の精度向上と活用に関する研究」平成10年度報告書：主任研究者 大島 明)により試算すると、全部位の罹患数合計に対し、男性75.0%、女性82.0%を占める。

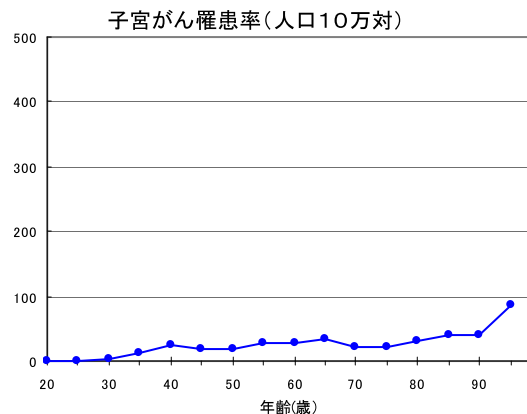
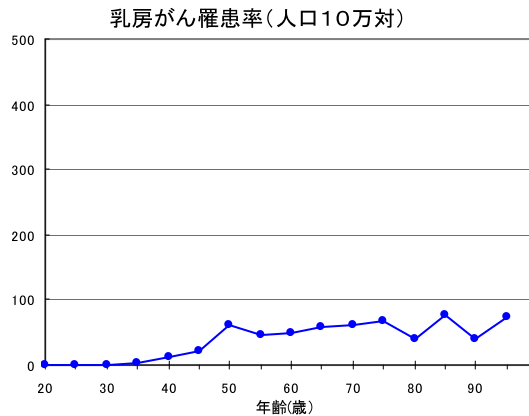
表1 届出対象部位

国際基本分類 (ICD-10)	種 別
C16	胃の悪性新生物
C18	結腸の悪性新生物
C20、C19、C21	直腸、直腸S字結腸移行部及び肛門の悪性新生物
C22	肝及び肝内胆管の悪性新生物
C23、C24	胆のう〈嚢〉及び肝外胆管の悪性新生物
C25	膵の悪性新生物
C33、C34	気管、気管支及び肺の悪性新生物
C50(女)、D05(女)	女性乳房の悪性新生物
C55、C53、C54、D06	子宮の悪性新生物
C73	甲状腺の悪性新生物

# 年代別のがん罹患状況



## 女性のその他のがん



出典: 石川県におけるがん登録(平成16年標準集計・平成12年罹患生存率集計)

**男性も女性も、50歳代からがんの罹患率が上昇します。**

また、胃癌、大腸がん、肝臓がん、肺がんではほぼいずれの年代でも、男性が女性の罹患率を上回っています。

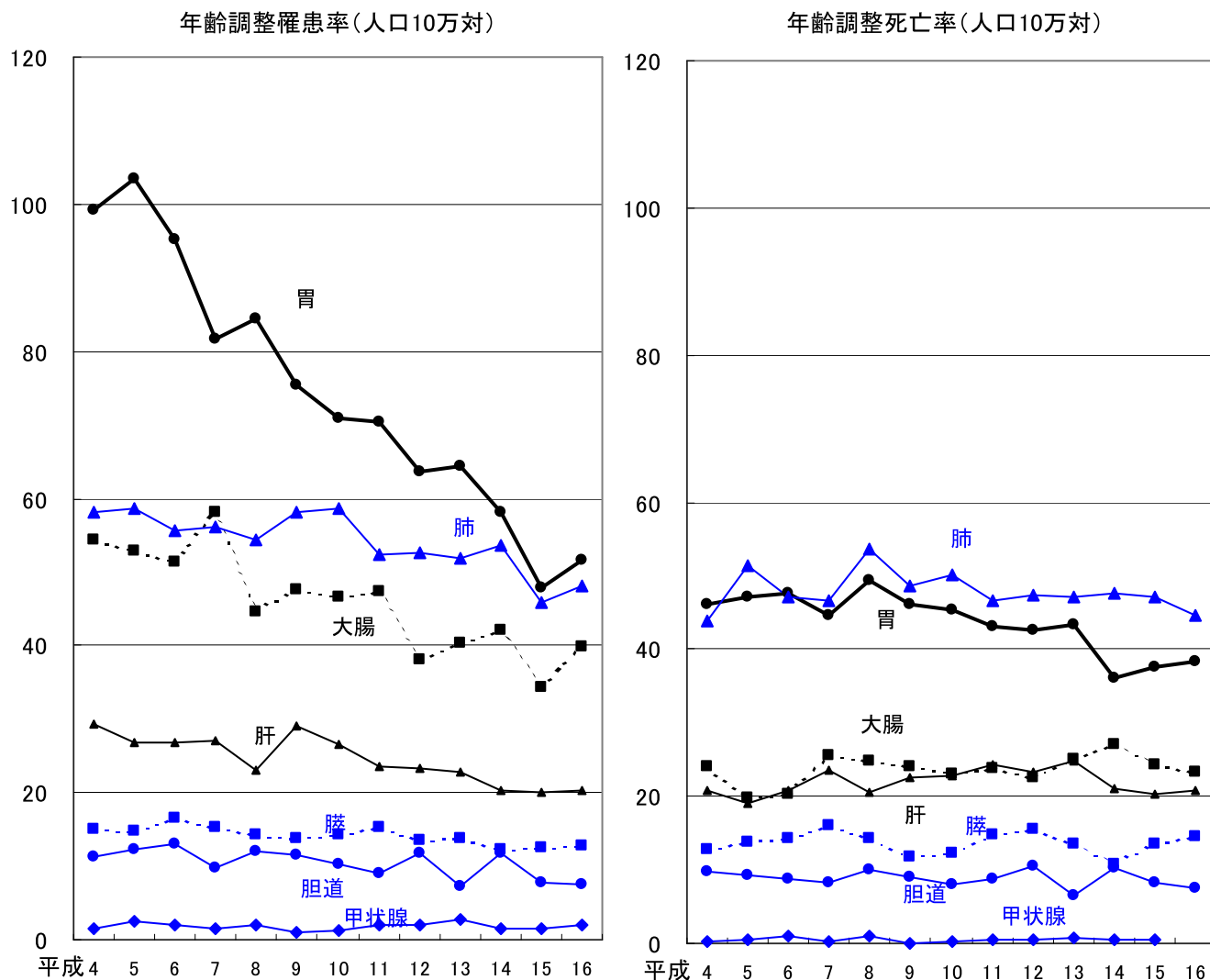
### ★ 罹患率とは？

ある観察集団で、ある観察期間内に、新たに病気にかかった患者さんが何人いたかを計算したものです。

これは、ある一定期間内に病気にかかる危険の大きさを示す指標になります。

人口10万対の罹患率の意味は、1年間に10万人を観察した場合の率のことをいいます。

# 年齢調整罹患率と年齢調整死亡率の推移(男)



出典:石川県におけるがん登録(平成16年標準集計・平成12年罹患生存者集計)

**男性では年齢調整罹患率が最も高いのは胃がんですが、減少傾向です。**

胃がんの次は肺がん、大腸がん、肝がんが続きます。

一方、年齢調整死亡率が最も高いがんは、肺がんであり、次に胃がん、大腸がん、肝がんが続きます。

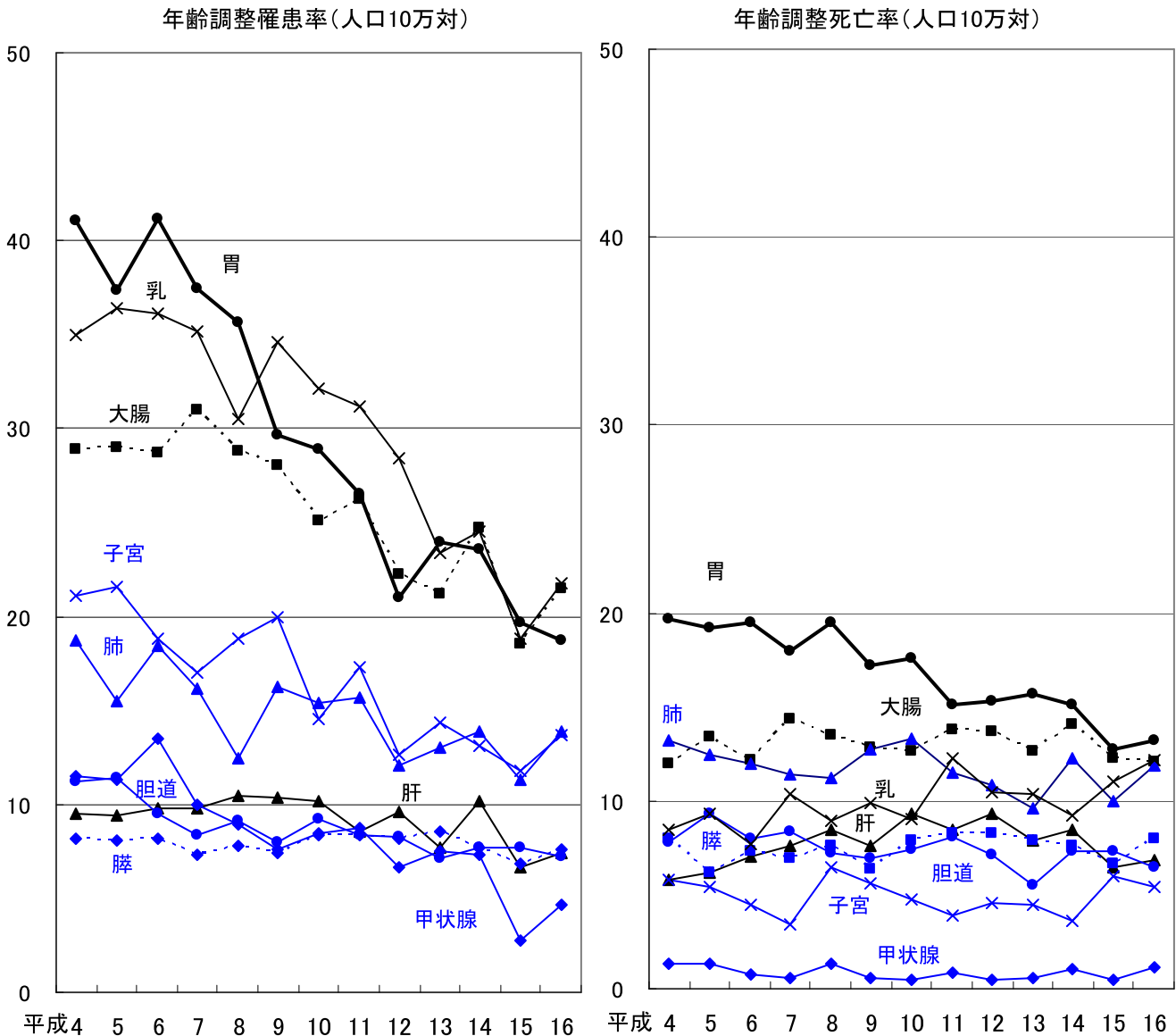
## ★ 年齢調整罹患率・年齢調整死亡率とは？

罹患数を全人口で割ったものが粗罹患率ですが、粗罹患率は、高齢者が多いと高い罹患率を示しやすいため、地域比較や経年比較をするには適当な指標とはいえません。

そこで、年齢構成を補正して計算したのが、年齢調整罹患率です。これは、がんのかかり易さを示す指標といえます。年齢調整死亡率も同様の考え方で、年齢構成を補正した死亡率のことをいいます。



# 年齢調整罹患率と年齢調整死亡率の推移(女)



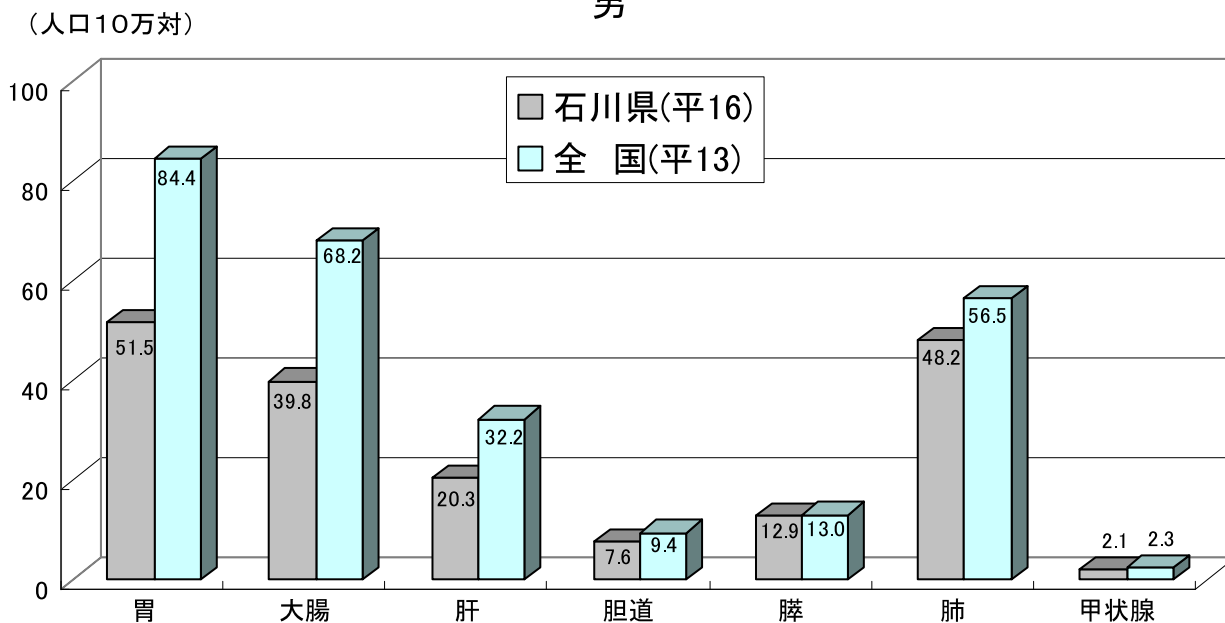
出典:石川県におけるがん登録(平成16年標準集計・平成12年罹患生存率集計)

**女性では、胃がん、乳がん、大腸がんとも、年齢調整罹患率は減少傾向が見られます。**

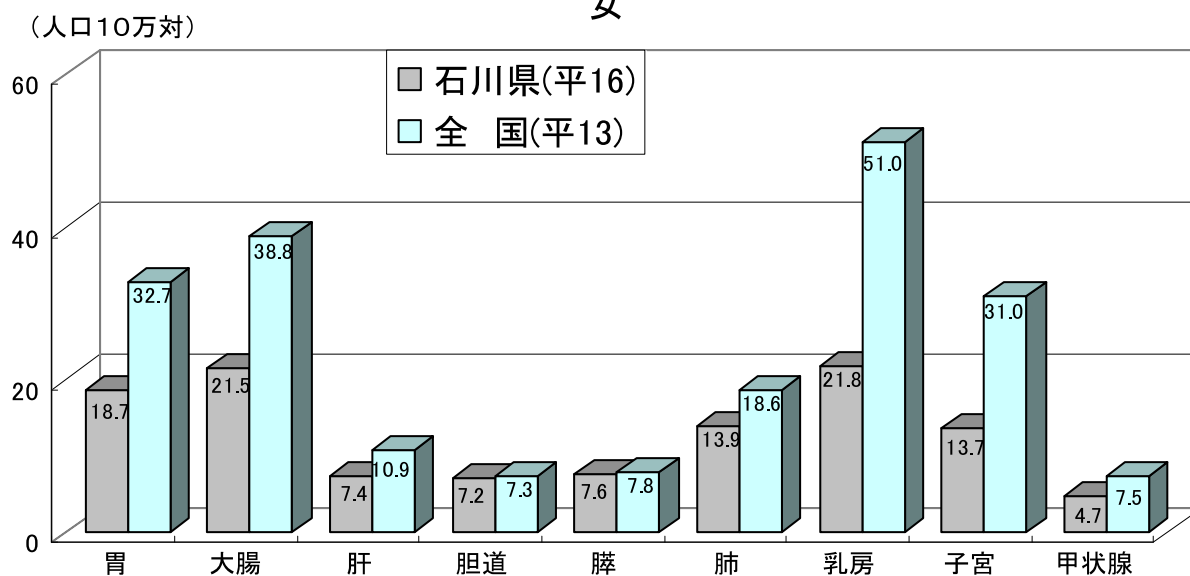
一方、年齢調整死亡率が最も高いのは、依然、胃がんです。近年、乳がんが増加傾向にあります。

# 年齢調整罹患率の全国との比較

## 男



## 女



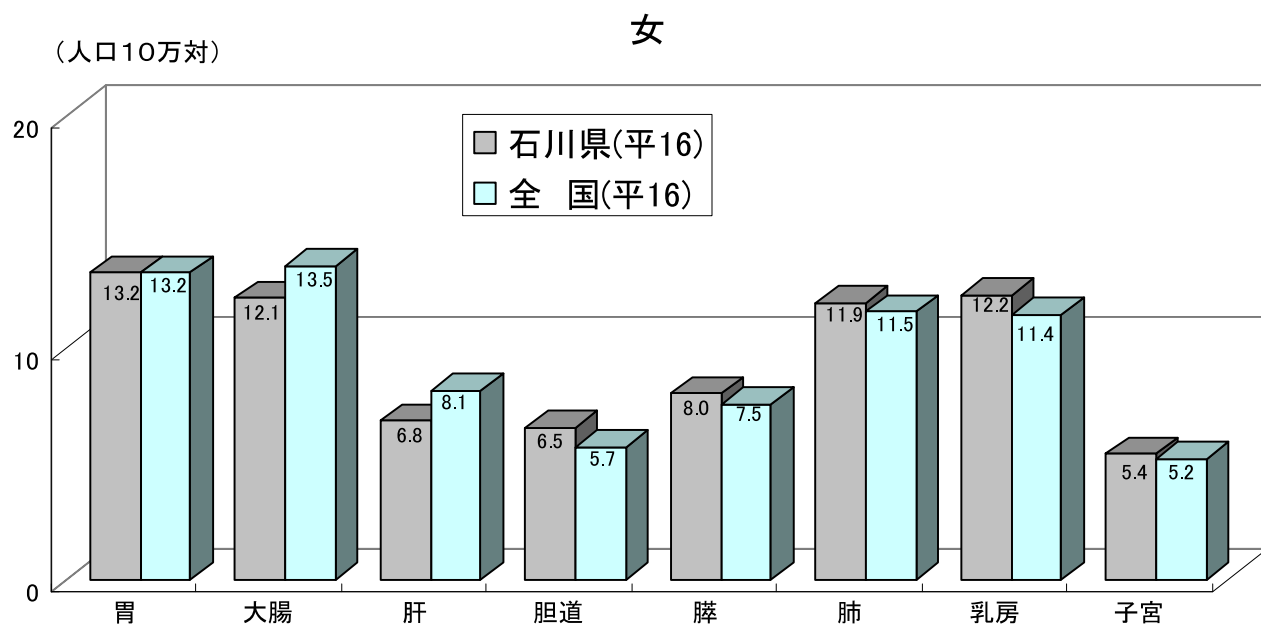
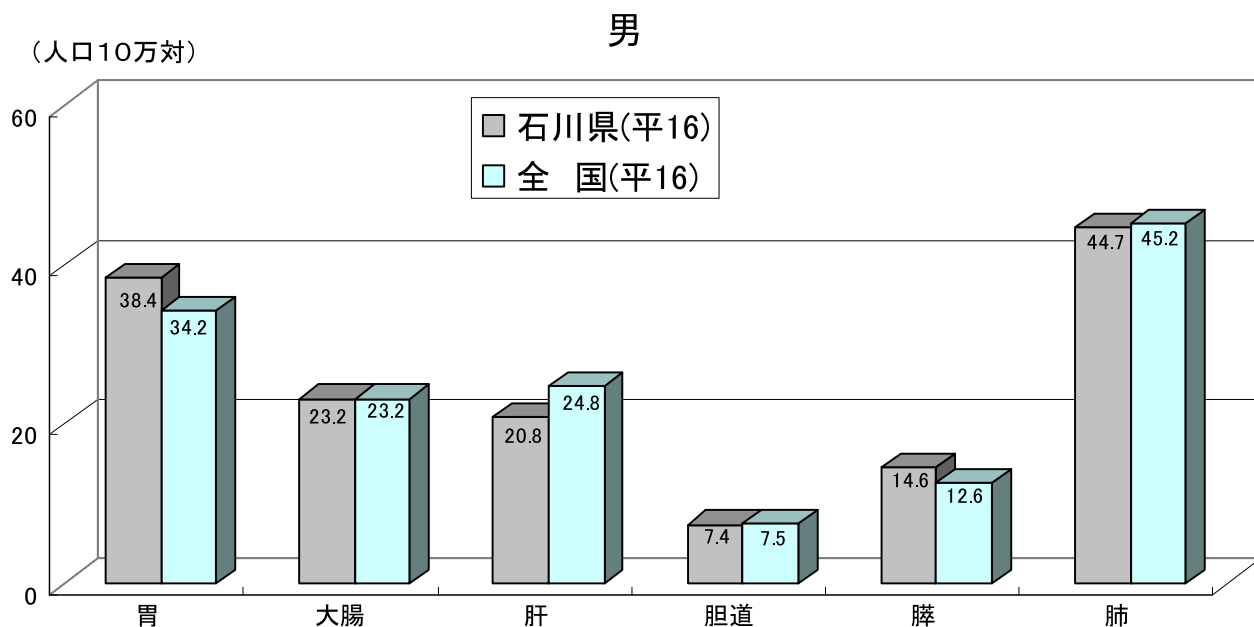
出典: 石川県におけるがん登録(平成16年標準集計・平成12年罹患生存率集計)

**年齢調整罹患率の順位は、男女とも全国とほぼ同様です。**

男性は、全国では1位胃がん、2位大腸がん、3位肺がん、石川県では1位胃がん、2位肺がん、3位大腸がんです。

女性は、全国では1位乳がん、2位大腸がん、3位胃がんです。石川県でも同じです。

# 年齢調整死亡率の全国との比較



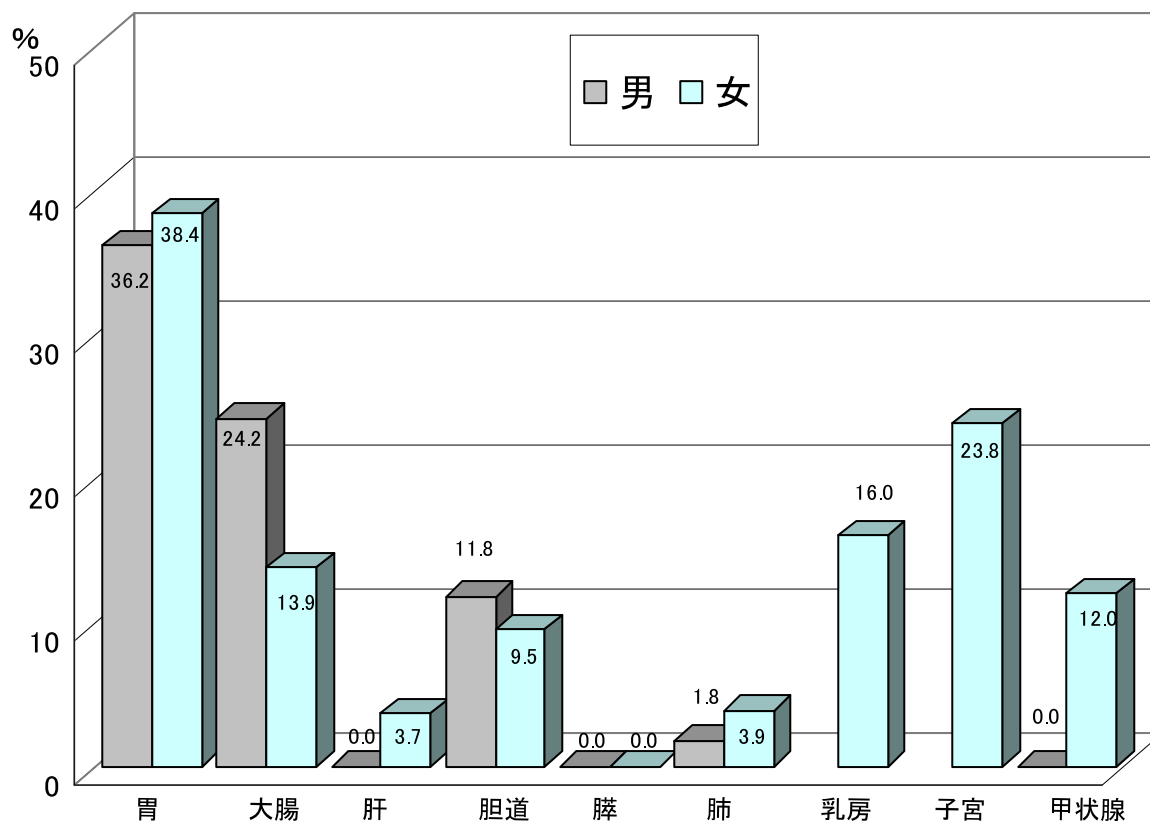
出典:石川県におけるがん登録(平成16年標準集計・平成12年罹患生存率集計)

## 年齢調整死亡率の順位は男女とも全国とほぼ同じです。

男性は、全国は1位肺がん、2位胃がん、3位肝がん、石川県では1位肺がん、2位胃がん、3位大腸がんです。

女性は、全国は1位大腸がん、2位胃がん、3位肺がん、石川県では1位胃がん、2位乳がん、3位大腸がんです。

## 早期がんの割合



出典:石川県におけるがん登録(平成16年標準集計・平成12年罹患生存率集計)

### 早期のがんが見つかりやすい部位は、胃と子宮です。

見つかったがんのうち、早期がん（進行していない早期の段階のがん）の占める割合を表したグラフです。

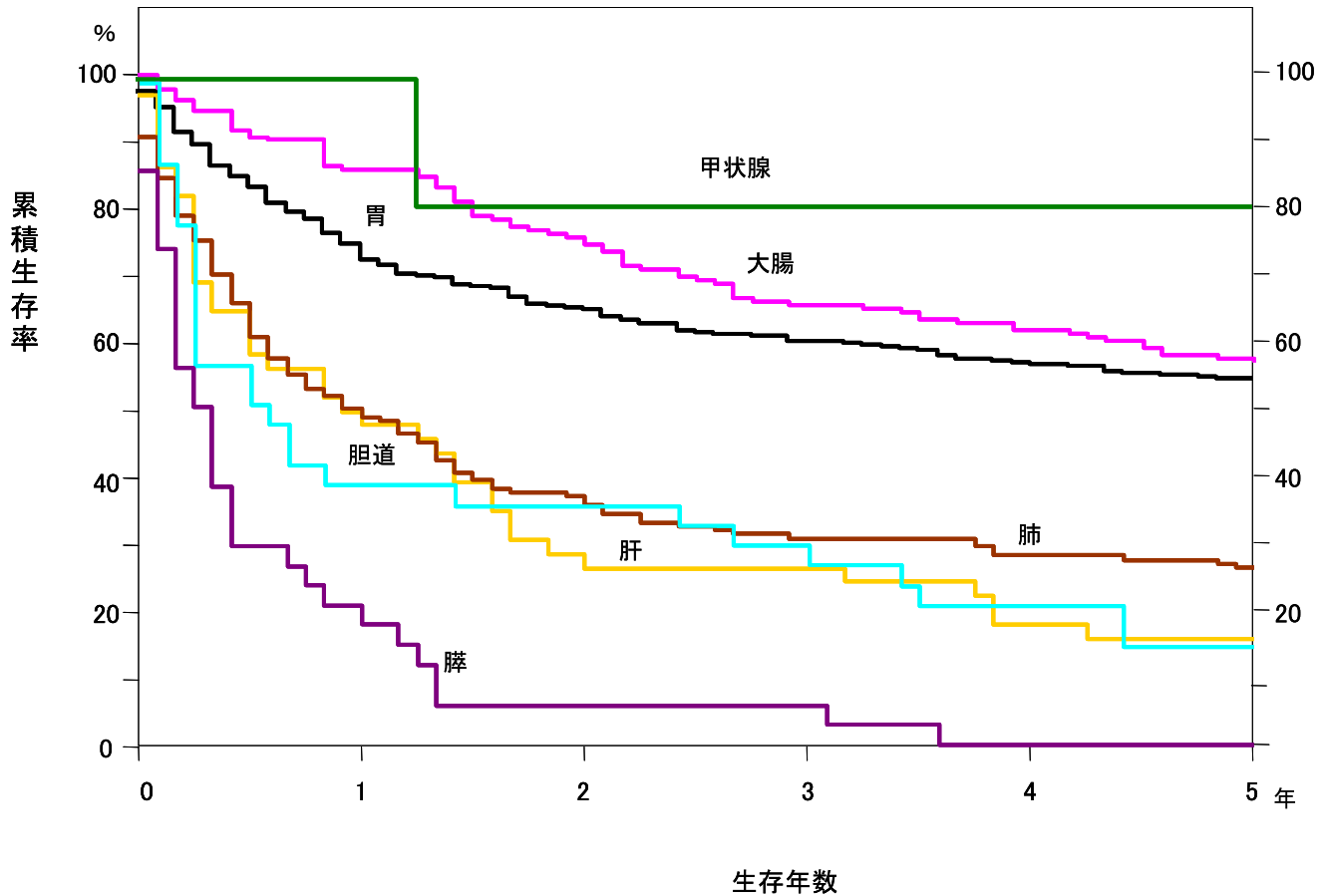
男性においては、胃がんで約36%、大腸がんで約24%です。

肺がんや膵臓がん、肝がんは10%にも満たず、早期に見つけにくいがんであることがわかります。

女性においても、胃がんの早期がん割合が、約40%になっています。肺がんや膵臓がん、肝がんは男性と同じく、早期に見つけにくいがんです。

# 5年生存率

## 部位別生存率曲線（男）



出典:石川県におけるがん登録(平成16年標準集計・平成12年罹患生存率集計)

### 男性の甲状腺がん、大腸がん、胃がんは経過が比較的良好でした。

5年目の生存率が高い順から、甲状腺がん、大腸がん、胃がんとなっています。

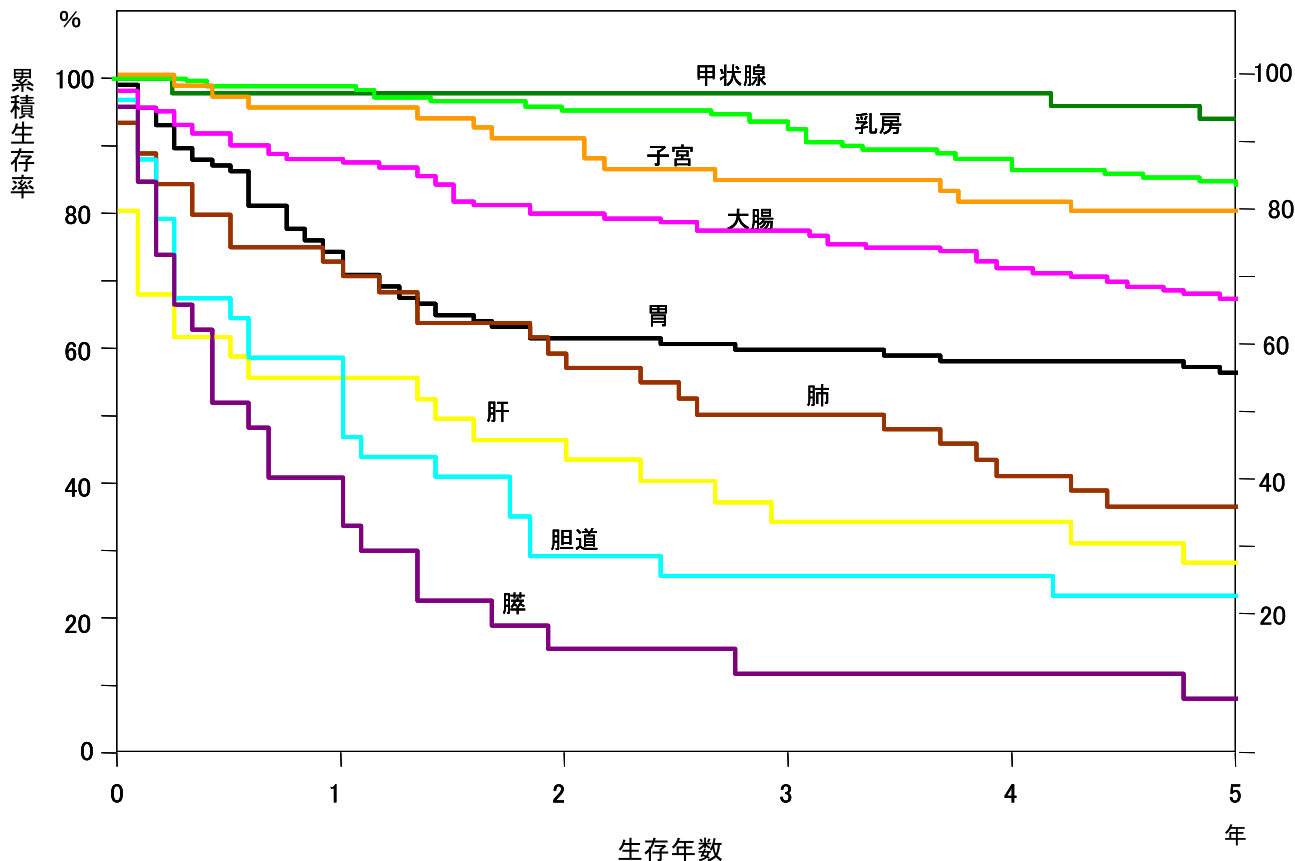
胃がん・大腸がんの5年生存率は約60%ですが、肺がん、肝がん、胆道がんは、20%前後と生存率が低くなっています。

### ★ 生存率曲線とは？

がんが、発見されてから5年間の生存状況を曲線に示したものです。がんを治療して5年生存できた人は、以後のがんの再発がほとんどなく、5年生存率は治癒率に相当するととらえられています。

# 5年生存率

## 部位別生存率曲線（女）



出典：石川県におけるがん登録（平成16年標準集計・平成12年罹患生存率集計）

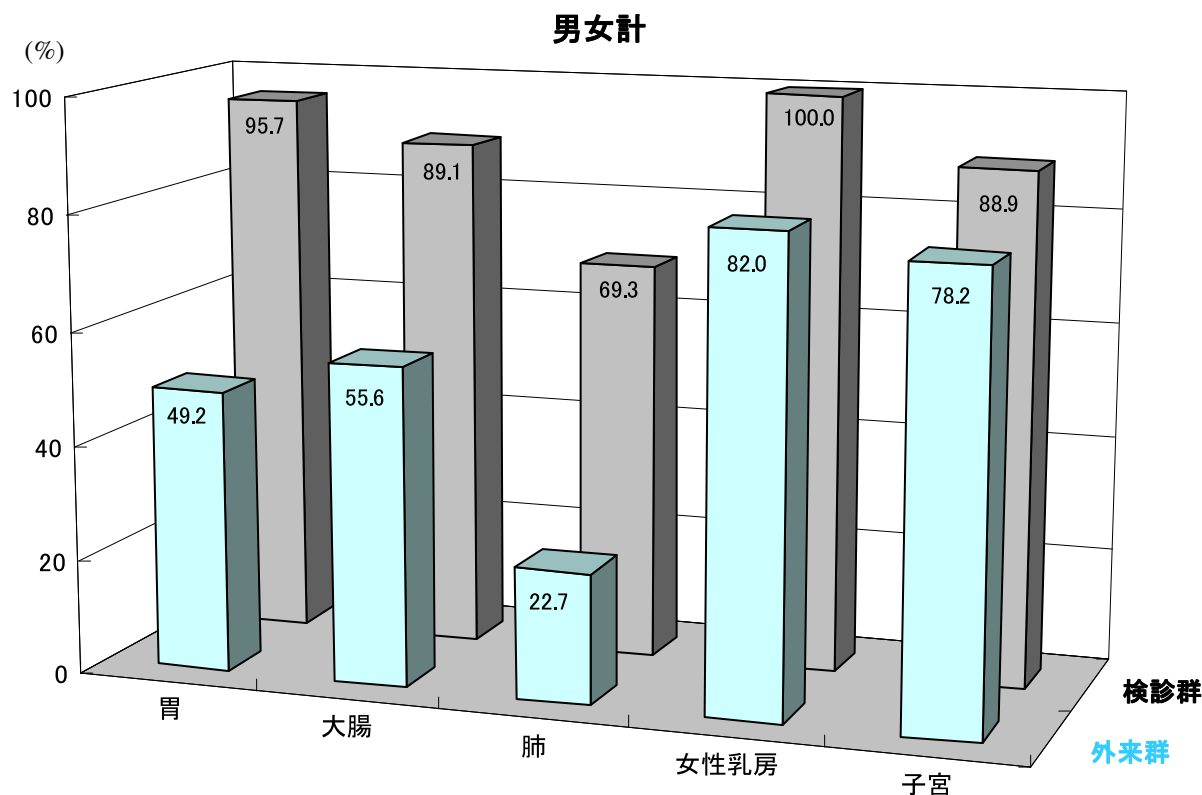
**女性の甲状腺がん、乳がん、子宮がん、大腸がんは経過が比較的良好です。**

5年目の生存率が高い順から、甲状腺がん、乳がん、子宮がん、大腸がん、胃がんとなっています。

乳がん・子宮がんで、5年生存率は80%前後、胃がんで約60%ですが、肝胆道系、膵臓のがんは、30%以下と生存率は低くなっています。

甲状腺は、90%以上と最も高くなっています。

# 検診群と外来群別5年生存率



出典:石川県におけるがん登録 (平成16年標準集計・平成12年罹患生存率集計)

**検診でがんが見つかった人は、外来で何らかの症状が出てから受診した人と比べ、高い生存率を示しています。**

検診で発見されたがんと、検診以外(外来)で発見されたがんに分けて5年生存率を比較したグラフです。

いずれの部位においても、5年生存率は、検診群が外来群を上回っています。特に、検診で見つかった胃、大腸、乳房、子宮のがんの場合は80%以上が生存しています。

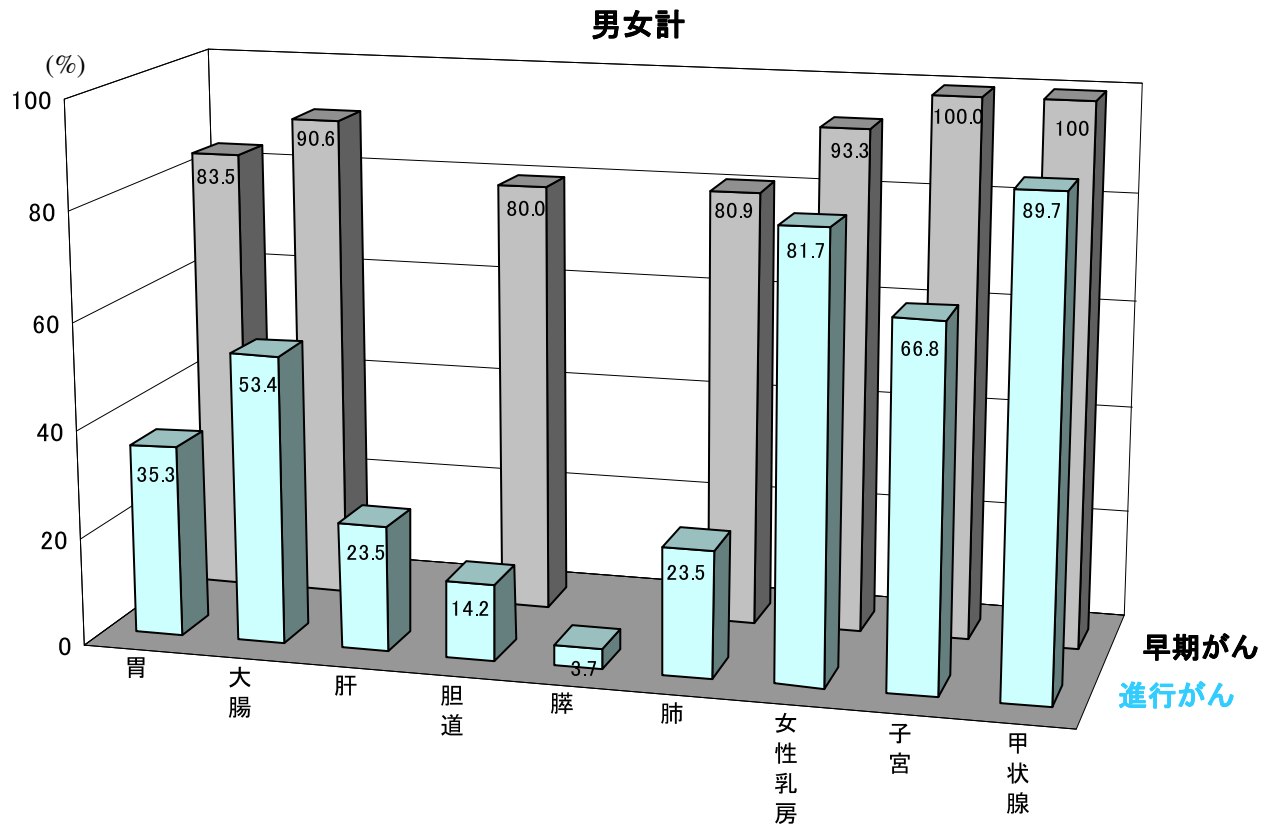
## ★ 検診群とは？

施設検診と集団検診、人間ドックを含む健康診断で発見されたがんのことをいいます。

## ★ 外来群とは？

自覚症状があり、診療所や病院の外来を直接受診して発見されたがんのことです。

# 進行度別の5年生存率



出典:石川県におけるがん登録 (平成16年標準集計・平成12年罹患生存率集計)

## 早期で見つければ、生存率は80%以上になります。

ただし、肝臓、膵臓のがんでは異なります。

早期がんと進行がんに分けて、5年生存率を比較したグラフです。

いずれの部位においても、早期がんの生存率が進行がんの生存率を大きく上回っています。胃、大腸、胆道、肺、乳房、子宮、甲状腺の早期がんの場合は、80%以上が生存しています。肝臓がん、膵臓がんは、見つかった時点で、全員が既に進行がんでした (平成12年罹患生存率集計)。

進行がんであっても、甲状腺がんの生存率は80%以上で、予後が良くなっています。



# 平成16年度石川県がん管理事業における がん登録届出機関名及び届出数

(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

地区	医療機関名	届出数
金沢	うきた病院	4
	金沢市立病院	99
	金沢社会保険病院	58
	金沢西病院	25
	古川医院	1
	国立金沢病院	321
	石川県済生会金沢病院	26
	鈴木レディスホスピタル	1
	丘村クリニック	2
	石川県立中央病院	110
	大平胃腸科外科クリニック	6
	藤田内科胃腸科医院	1
	映寿会みらい病院	55
	城北病院	6
	斉藤内科倉西外科医院	1
	石川県成人病予防センター	164
	加賀	公立加賀中央病院
山下医院		5
上田医院		4
板谷医院		16
蓮井医院		3
小松	やわたメディカルセンター	9
	森田病院	2
	神足産婦人科	1
能美	根上総合病院	76
	辰口芳珠記念病院	141

地区	医療機関名	届出数
松任・石川	とみたクリニック	2
	公立松任石川中央病院	175
	新村病院	13
	大倉外科医院	1
	牧野医院	1
	松南病院	5
	河北	金沢医科大学病院
	二ツ屋病院	14
羽咋	公立羽咋病院	3
	西村内科・胃腸科クリニック	13
	富来病院	7
	加藤病院	2
	村上産婦人科医院	1
	平場内科クリニック	3
七尾	恵寿総合病院	68
	円山病院	4
輪島	公立穴水総合病院	38
	伊藤医院	4
珠洲	升谷病院	37
	総 計	2,112

(参考:平成15年度届出数 2,253件)

<注> これは上記期間中に届出を受け付けた件数であるので平成16年度に診断したとしても、平成17年度中に届出がなされれば平成17年度分の報告となる。

このダイジェスト版は、「石川県生活習慣病検診等管理指導協議会がん登録・評価等部会のがん登録委員会ワーキンググループ」の下記の先生方のご協力をいただいで作成したものです。

氏 名	職 名
中川 秀昭	金沢医科大学医学部教授（健康増進予防医学）
大平 政樹	石川県医師会理事
三浦 克之	滋賀医科大学准教授（福祉保健医学）
田畑 正司	石川県予防医学協会健康管理センター所長



## 石川県健康福祉部健康推進課

---

〒920-8580 金沢市鞍月1-1

電話 076-225-1436

FAX 076-225-1444

がん登録集計結果の詳細やがん登録資料の利用についてなど、石川県地域がん情報管理事業に関する情報は、下記のホームページからも手に入ります。

<http://www.pref.ishikawa.jp/kenkou/gan-touroku/top.htm>